

千波湖環境学習会レポート！③

令和3年6月6日（日）

テーマ こどもムシムシ探検とオオキンケイギク除去

今回の千波湖環境学習会は、水戸市環境フェア 2021 事業として、1日に3回も行いました！
本日2回目のテーマは、『こどもムシムシ探検とオオキンケイギク除去』です。
虫探しは楽しみだけど、オオキンケイギク除去ってなんだろう？
少しむずかしいかもですが、外来種の勉強をしながら、千波湖の環境を体験していきましょう。

オオキンケイギクは『特定外来生物』といい、
駆除しなければいけない植物とのことです。

茨城県生物多様性センターの茂垣先生からは、
「オオキンケイギクは園芸種として輸入・利用され、
繁殖力が強いので昔から日本にいる在来種を
駆逐し、空地や道路わきなどに繁殖している」と
の説明もありました。今回、千波湖の在来種を守る
ため除去することし、桜川の河岸に繁殖していた
オオキンケイギクを参加者みんなで抜き取り
ました。40袋以上も抜き取れましたね。

身の回りにオオキンケイギクを見つけたら
みんなで除去しましょう。

Before



After



ハグロトンボ GET！



次に、月池付近に移動して、昆虫採集の開始です。
プレゼントされた虫とりあみと虫かごで色々な虫をつかまえました。講師である染谷先生によると、
つかまえたのは、ハグロトンボ・ギンヤンマ・シオカラトンボといったトンボ類やショウジョウバッタ・ヒシバッタなどのバッタ類、
モンシロチョウ・ベニシジミ、アカボシゴマダラといったチョウ類が多かったとのことです。

このなかでも、アカボシゴマダラは、オオキンケイギクと同じ『特定外来生物』で日本には
いけないチョウとのことです。きれいなチョウですが、日本の自然を守るため、
駆除しましょう。



モンシロチョウ GET！



今回の学習会では、色々な虫について勉強するとともに、『特定外来生物』についても学びました。
オオキンケイギクやアカボシゴマダラはきれいです、水戸市のもともとの豊かな自然を守るため
にも、『特定外来生物』には十分注意しましょう。

